

口腔維持系診療科

# 歯科顎口腔外科(形態機能グループ)

TEL 022-717-8352(外来)

科長 山内 健介



診療科WEB



外来担当医表

歯科顎口腔外科・形態機能グループが担う疾患は、端的に言えば歯科医院で一般的に診療するう蝕・歯周病ではないもの全般になります。最も身近なものは親知らず(智歯)ですが、それ以外にも顎骨のう胞、顎の奇形・変形、顎関節症、唾液腺疾患など多岐に渡ります。これらの疾患に対する治療(手術)では、一次的にでも顎口腔機能が障害され、摂食・嚥下・発音・呼吸などに影響が出るとともに、顔の一部を担う事から審美的な障害も生まれます。それらの障害を少しでも抑え、また、正常な形態・機能に回復することを目標に、先端的な画像解析システム、新規医療器機・材料を積極的に応用した治療を行っています。機能回復の中でも咬み合わせまでを目標とする場合は、歯科インプラントセンターや歯科全般の診療科と連携して、咬合咀嚼機能までを獲得し、一生涯での機能維持をゴールとします。現在でも地域の歯科医院や総合病院歯科口腔外科とも連携していますが、今後は情報通信技術を応用した遠隔医療連携を構築して、宮城県内、東北地方全域でも地域間差違が生じないような顎口腔疾患治療の展開を目指しています。

## 主な対象疾患

腫瘍、顎変形症、嚢胞、埋伏歯・埋伏智歯、歯性感染症、上顎洞炎、顎骨髄炎、粘膜疾患、顎関節症、外傷・骨折、唾液腺疾患、先天・後天奇形、高度歯槽堤萎縮症、薬剤関連顎骨壊死、口腔顔面痛、ドライマウス、シェーグレン症候群、顎関節強直症、習慣性顎関節脱臼、咀嚼筋腱膜過形成症、睡眠時無呼吸症候群

口腔維持系診療科

# 歯科顎口腔外科(疾患制御グループ)

TEL 022-717-8352(外来)

科長 杉浦 剛



診療科WEB



外来担当医表

歯科顎口腔外科の高頻度疾患は、埋伏歯や炎症性疾患です。しかし口腔内には、さらに専門的診断と治療を必要とする、粘膜の異常や口腔がんを含む腫瘍性病変があります。また、全身疾患の口腔症状としての粘膜炎や粘膜異常が存在し、全身疾患の診断や一貫治療の中での口腔管理が必須となってきます。これらの疾患の診断はしばしば困難で、治療に苦慮することも多いのが実情です。歯科顎口腔外科・疾患制御グループは、口腔内に生じるこれらの異常に対して、「早期発見・正確な診断・早期治療介入・医科診療科連携」を行うことを目的に診療グループ化されました。「口腔内に原因不明の異常が遷延する」場合に受診していただければと思います。口腔領域の異常は症状に乏しく、発症した際には進行していることも少なくありません。早期発見(診断)は外科的治療においても薬物療法でもQOL改善の基盤となります。病理学的診断を含む集学的検査を口腔領域の病変にも取り入れております。高頻度疾患である埋伏歯や炎症性疾患は、歯科顎口腔外科としてグループの区別なく担当しております。

## 主な対象疾患

口腔粘膜異常: 口腔粘膜炎(細菌性・ウイルス性)、潜在的口腔悪性疾患(白斑症、紅斑症、扁平苔癬、慢性肥厚性カンジタ症など)、天疱瘡・類天疱瘡、シェーグレン症候群、IgG4関連疾患  
/ 口腔がん: 口腔扁平上皮癌、唾液腺癌 / 顎骨腫瘍・のう胞: エナメル上皮腫、歯源性角化のう胞 / 高頻度疾患(歯科顎口腔外科として担当): 埋伏歯、過剰歯、歯性感染症、外傷